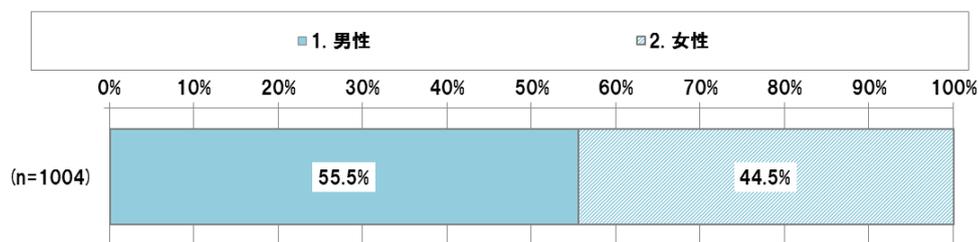


5.3. 男性のダブルケアを行う者の特徴

今回実施したインターネット・モニターによる調査では、回答者の性別が、「男性」が 55.5%、「女性」が 44.5%であり、男性の回答者が 557 名と半数以上を占める結果となった。

図表 5-20 (再掲)回答者の性別(単数回答)



ダブルケアを行う者の先行研究では女性を対象としたものが大半で、男性のみのサンプルを十分に確保した調査は希少であると推察される⁹。そこで、インターネット・モニターによる調査から男性のみを抽出した後、各種クロス集計を行い、男性のダブルケアを行う者の実態を分析した。

本項では、顕著な差異や傾向がみられた、「子育て・介護とも主に行う」「子育てのみ主に行う」「介護のみ主に行う」「子育て・介護ともに主に行っていない」の 4 つについて、比較検証を行う。参考として、女性についても同様に分析し、表を追記している。

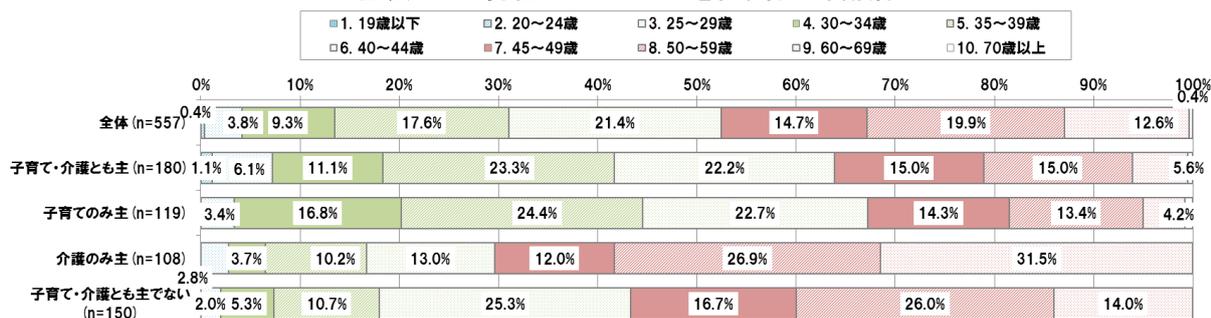
⁹ なお、インターネット・モニター調査のサンプリング・バイアス問題については、本多(2006)を参考にされたい。

5.3.1. 属性分析

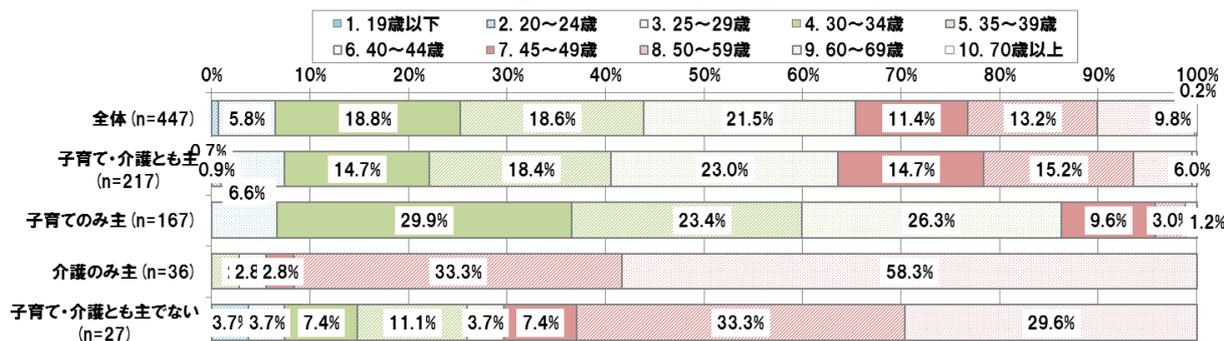
「子育て・介護とも主」及び「子育てのみ主」の層は、30代～40代前半の年齢層（「30～34歳」「35～39歳」「40～44歳」）が、前者は56.6%、後者は63.9%と、それぞれ半数以上をしめている。

他方、「介護のみ主」及び「子育て・介護とも主でない」の層は40代後半より上の年齢層（「45～49歳」「50～59歳」「60～69歳」「70歳以上」）が、前者は70.4%、後者は56.7%と、それぞれ半数以上をしめている。

図表 5-21 男性のダブルケアを行う者の年齢層



(参考) 女性のダブルケアを行う者の年齢層



5.3.2. 負担感

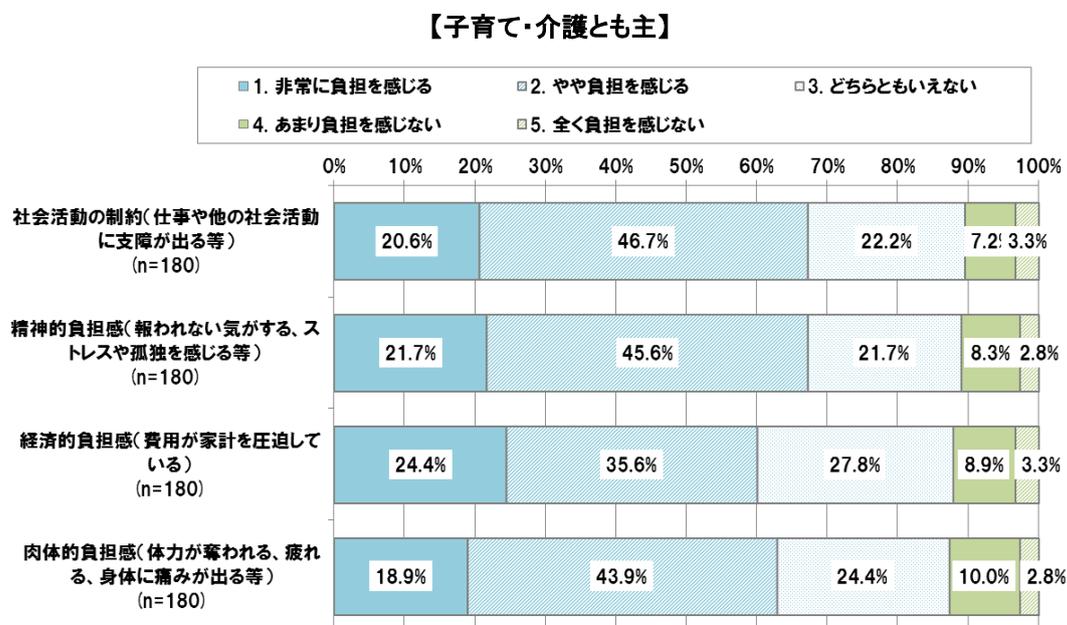
(1) 子育てに対する負担感

ダブルケアを行う男性の、「社会活動の制約（仕事や他の社会活動に支障が出る等）」「精神的負担感（報われない気がする、ストレスや孤独を感じる等）」「経済的負担感（費用が家計を圧迫している）」「肉体的負担感（体力が奪われる、疲れる、体に痛みが出る等）」といった4つの種類別の子育てに対する負担感については、「子育て・介護とも主」の層の負担感が、全体的に一番高い傾向（「非常に負担を感じる」と「やや負担を感じる」の合計が、4つの種類順に67.3%、67.3%、59.6%、62.8%）となっている。

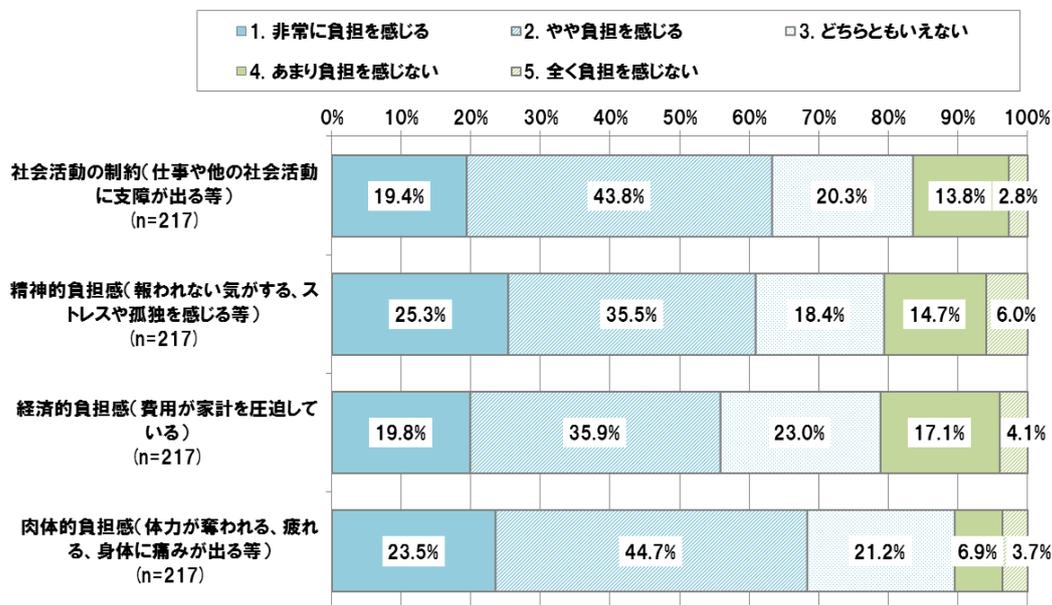
「子育てのみ主」の層の負担感は、全体的に二番目に高い傾向（「非常に負担を感じる」と「やや負担を感じる」の合計が、4つの種類順に48.7%、43.7%、48.7%、40.4%）であり、特に「社会活動の制約」及び「精神的負担感」が比較的高くなっている。

「介護のみ主」及び「子育て・介護とも主でない」の層の負担感は、全体的な傾向は同様であるが、「介護のみ主」の層は「肉体的負担感」が比較的高く（「非常に負担を感じる」と「やや負担を感じる」の合計が50.9%）、「子育て・介護とも主でない」の層は「経済的負担感」と「肉体的負担感」が比較的高く（「非常に負担を感じる」と「やや負担を感じる」の合計が、ともに42.0%）になっている。

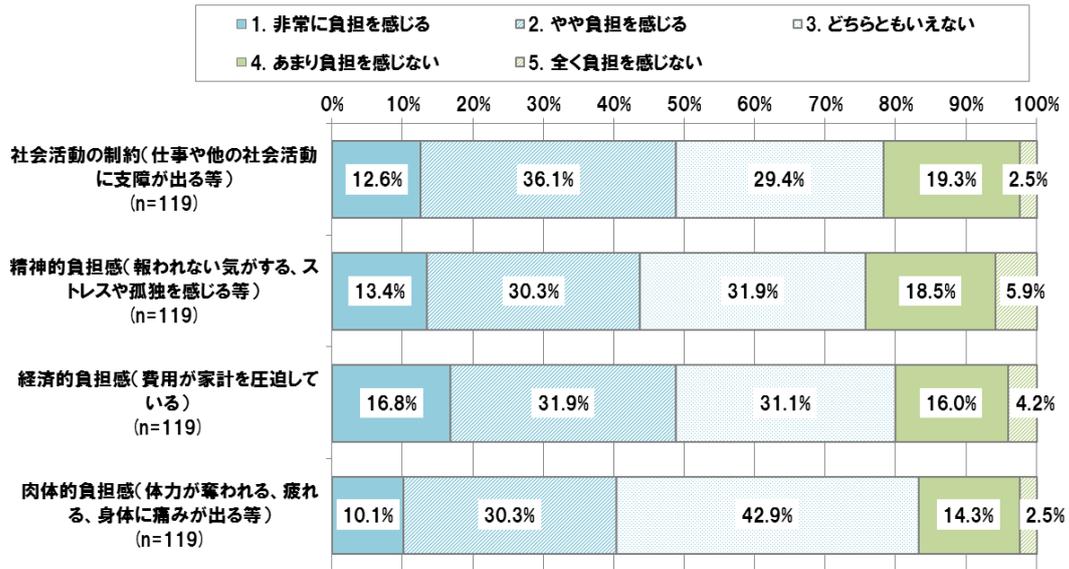
図表 5-22 子育てに対する男性のダブルケアを行う者の負担感



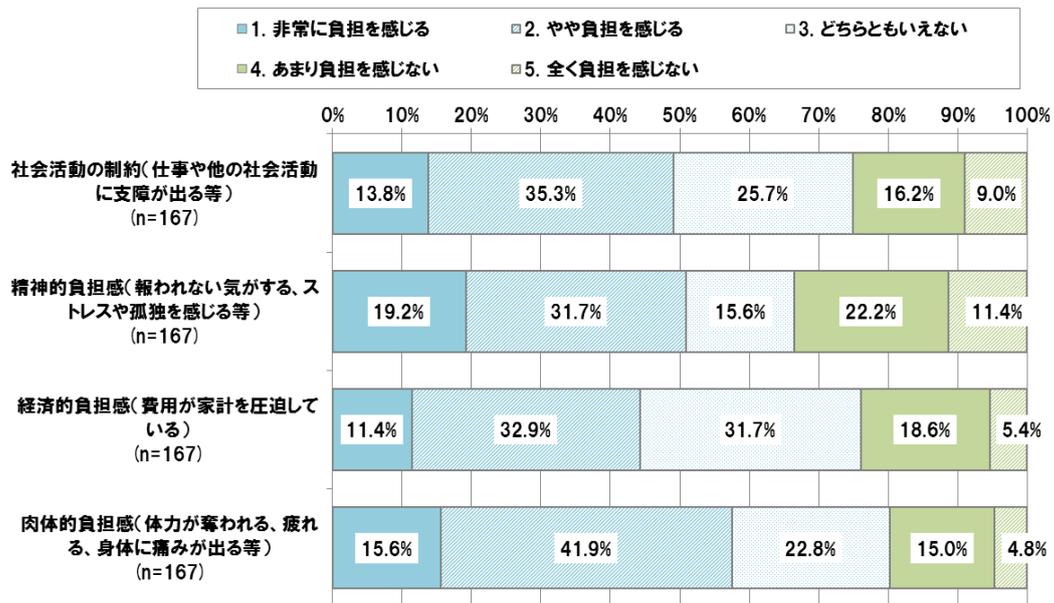
(参考) 子育てに対する女性のダブルケアを行う者の負担感 【子育て・介護とも主】



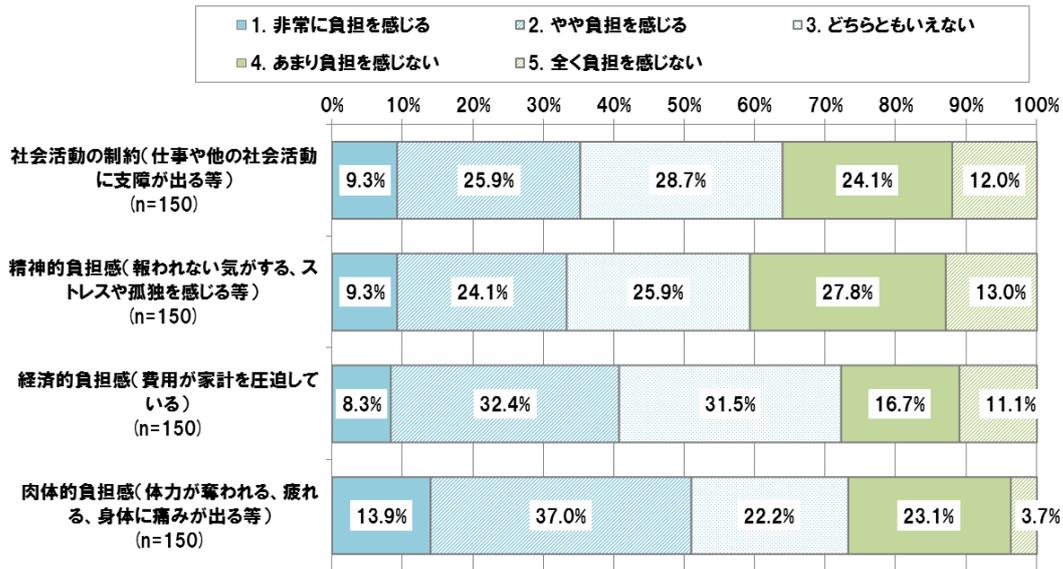
【子育てのみ主】男性



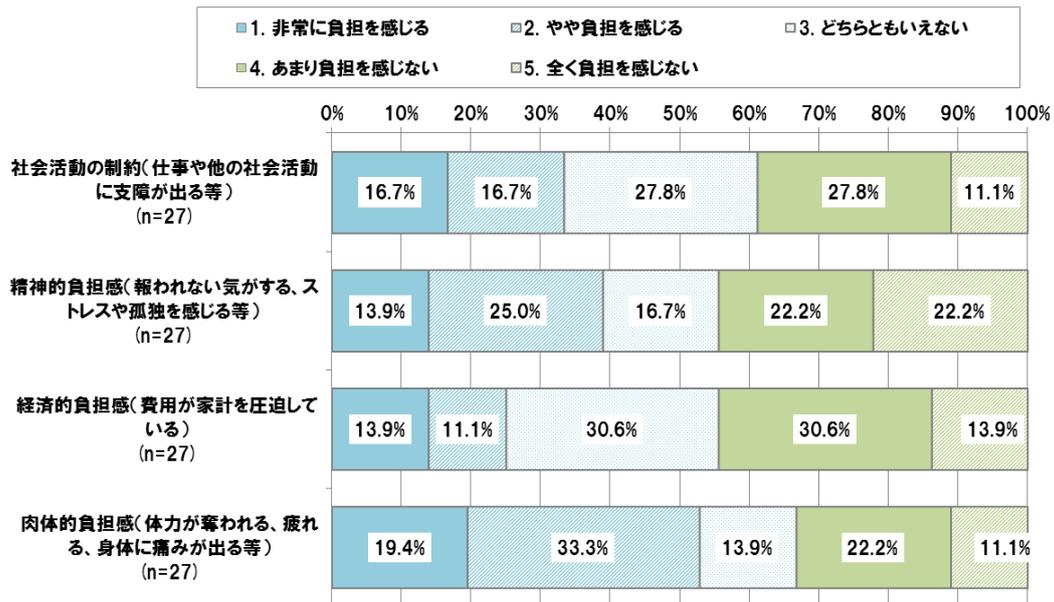
(参考) 【子育てのみ主】女性



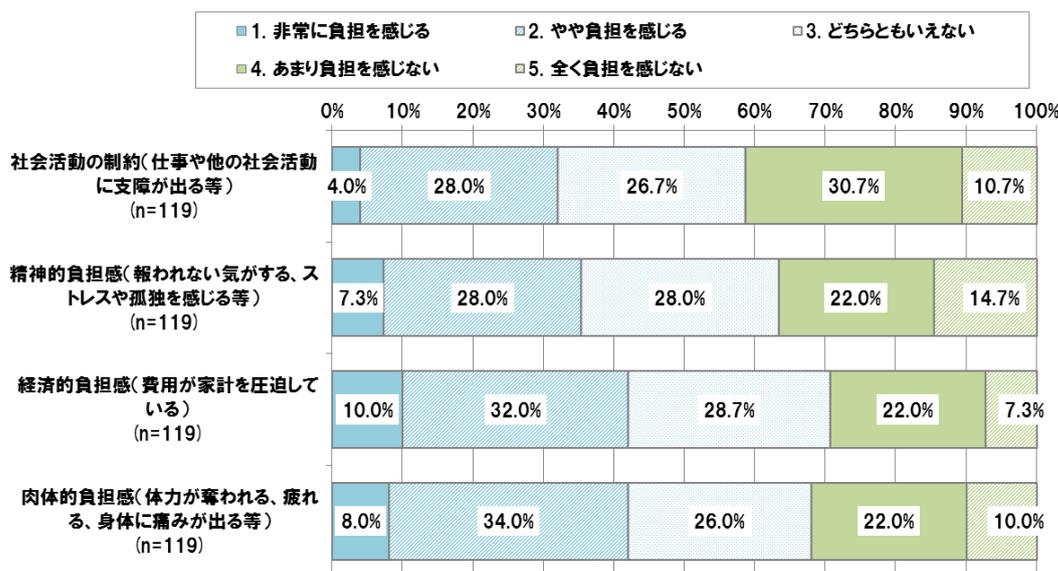
【介護のみ主】男性



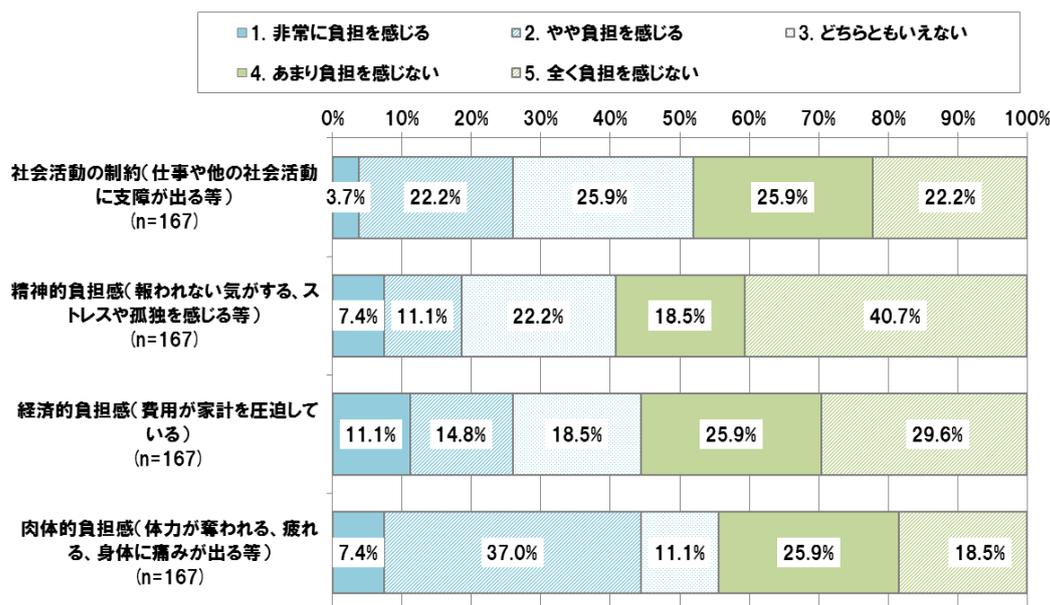
(参考) 【介護のみ主】女性



【子育て・介護とも主でない】男性



(参考) 【子育て・介護ともに主でない】女性



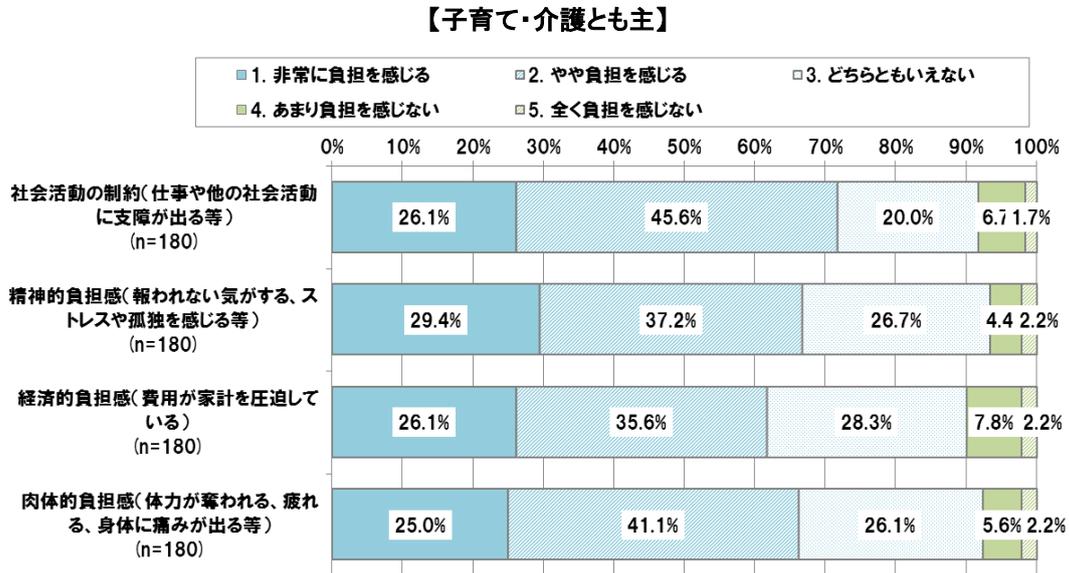
(2) 介護に対する負担感

(1)同様の、ダブルケアを行う男性の介護に対する4つの種類別の負担感については、「子育て・介護とも主」の層の負担感が、全体的に一番高い傾向(「非常に負担を感じる」と「やや負担を感じる」の合計が、4つの種類順に71.7%、66.6%、61.7%、66.1%)となっている。

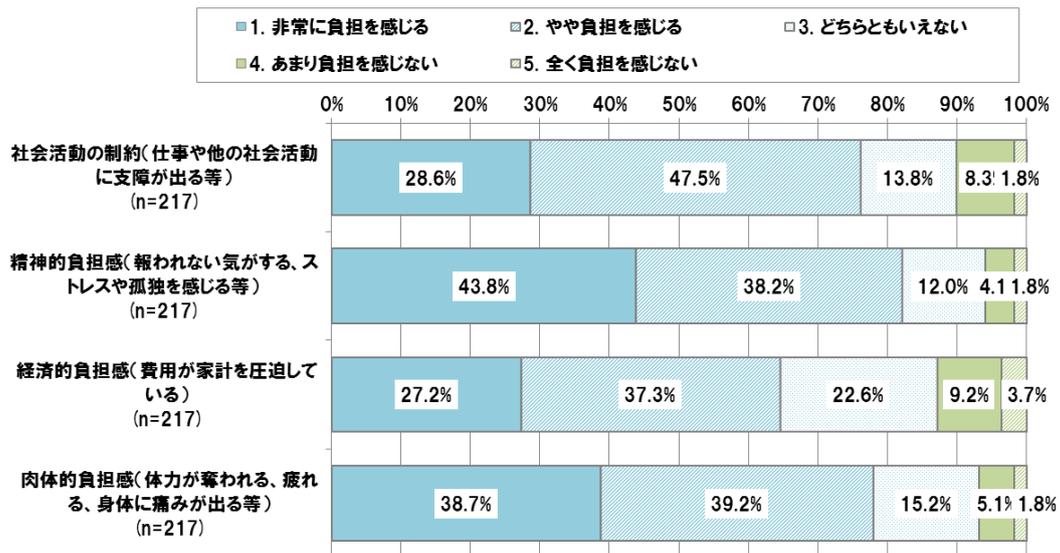
続いて、「介護のみ主」(上記同様に4つの種類順に63.9%、73.1%、53.7%、67.5%)、「子育てのみ主」(同様に、55.5%、60.5%、57.2%、58.8%)、「子育て・介護とも主でない」(同様に、46.0%、55.3%、40.7%、47.4%)といった順に全体的な負担感が高くなっている。これら3つの層の種類別の負担感の傾向を見ると、いずれも「精神的負担感」及び「肉体的負担感」が比較的高くなっている。続いて、「社会活動

の制約「経済的負担感」の順となっているが、「子育てのみ主」の層だけ「経済的負担感」の方が高くなっている。

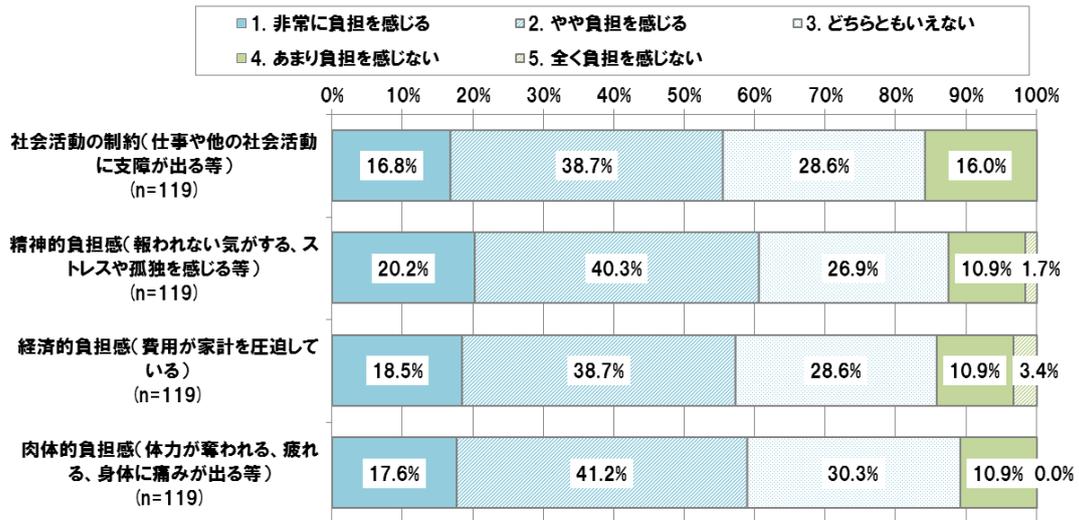
図表 5-23 介護に対する男性のダブルケアを行う者の負担感



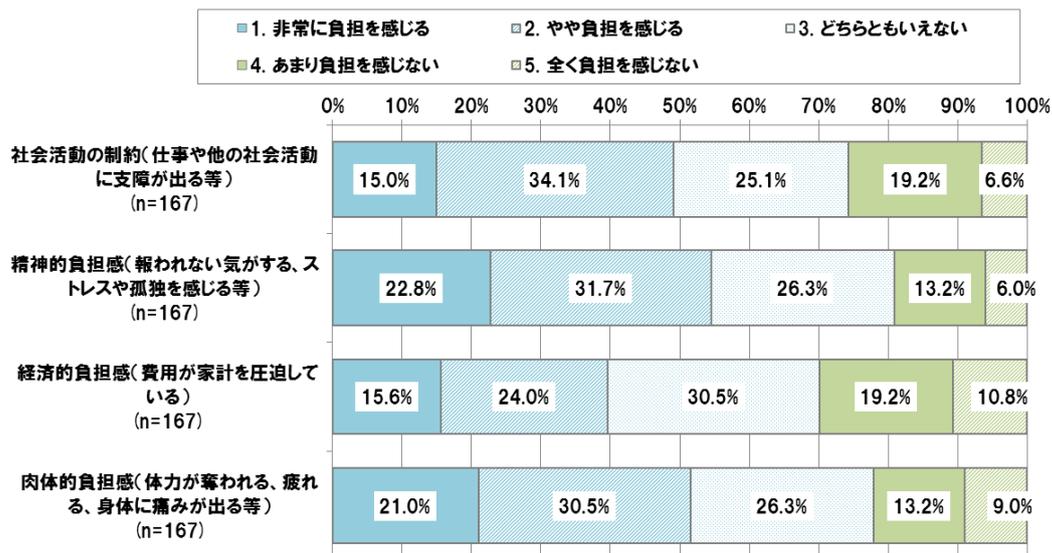
(参考) 介護に対する女性のダブルケアを行う者の負担感 【子育て・介護とも主】



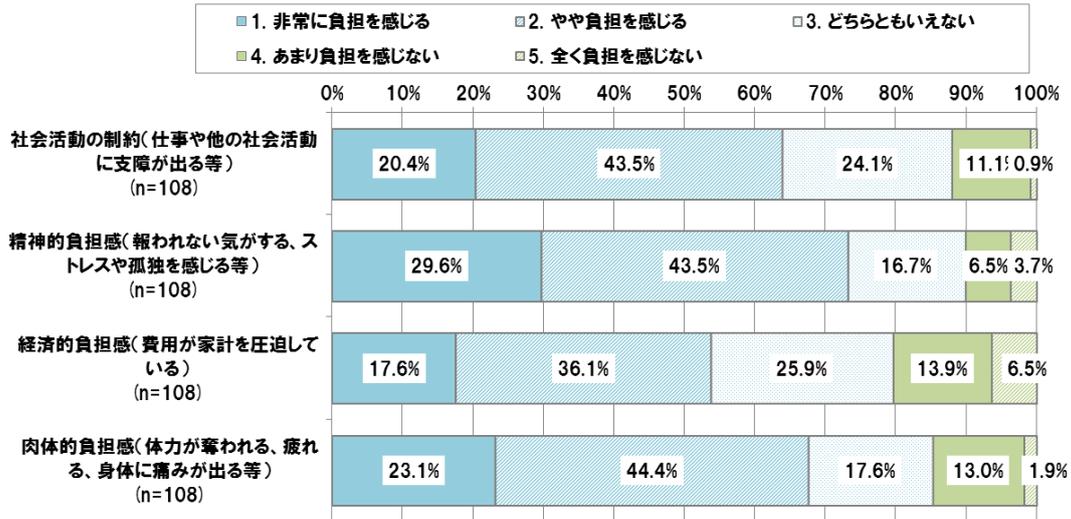
【子育てのみ主】男性



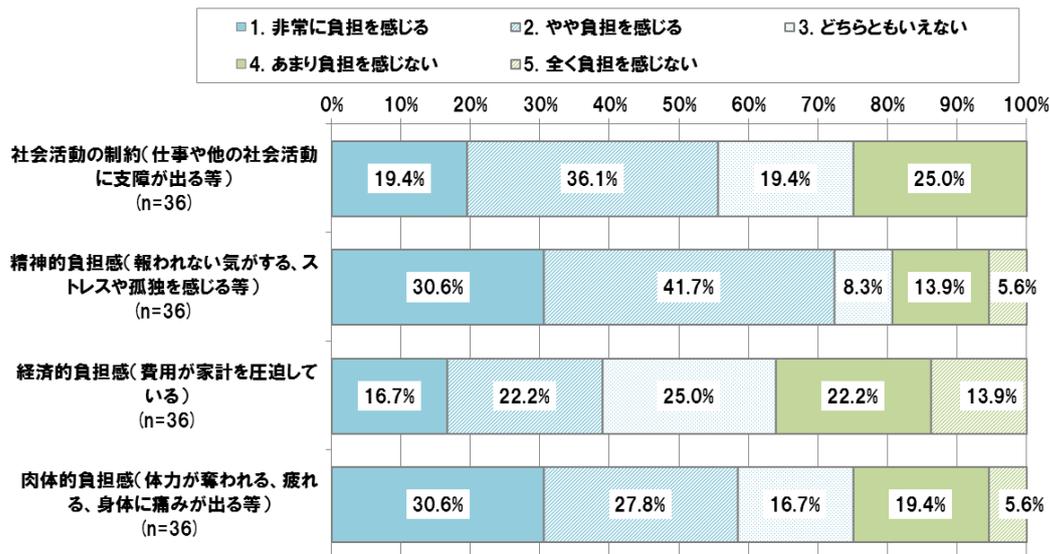
(参考) 【子育てのみ主】女性



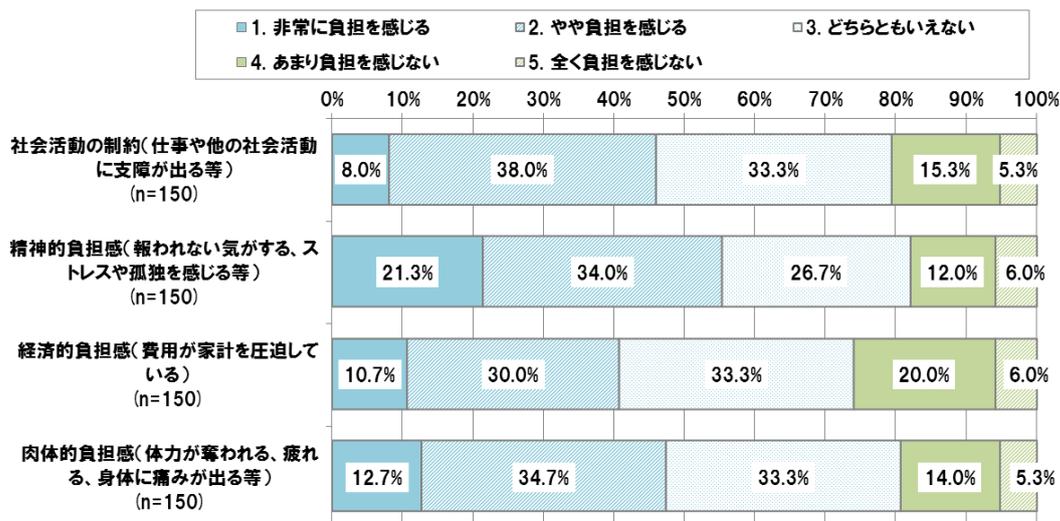
【介護のみ主】 男性



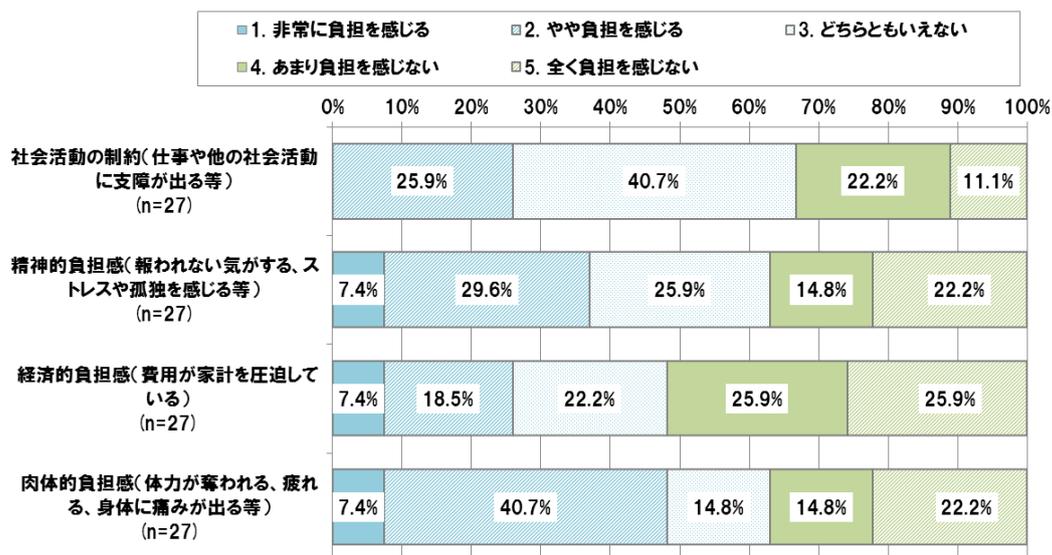
(参考) 【介護のみ】 女性



【子育て・介護とも主でない】 男性



(参考) 【子育て・介護とも主でない】 女性

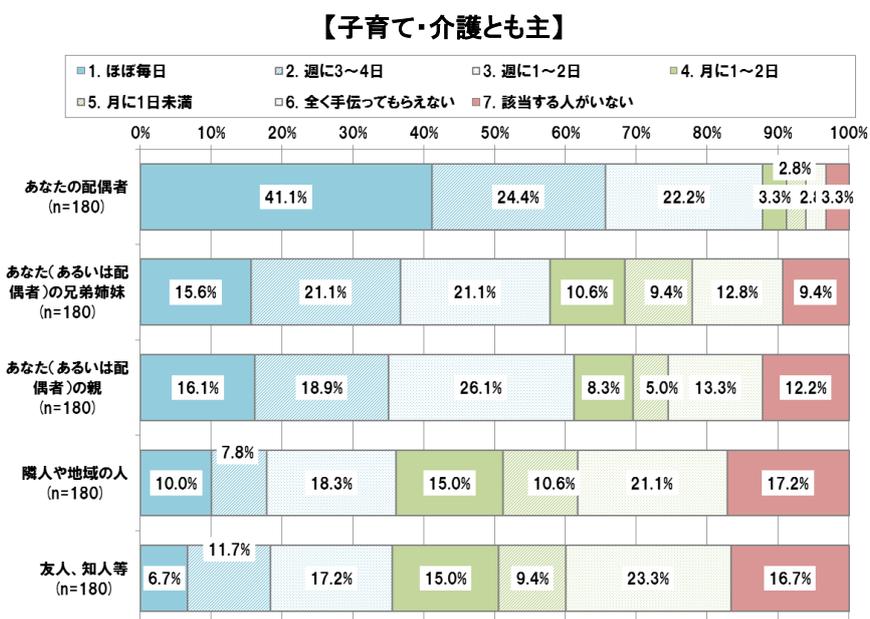


5.3.3. 男性のダブルケアを行う者に対する周囲のサポート状況

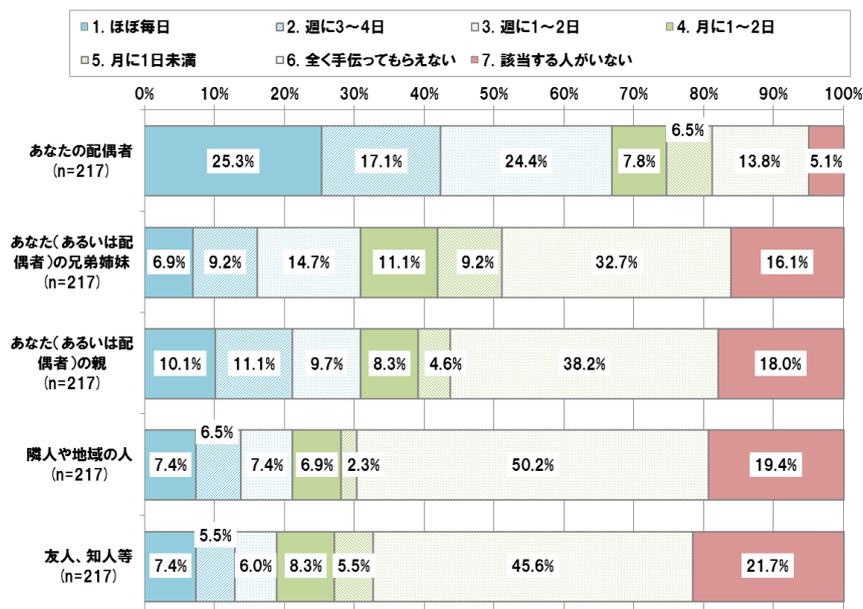
ダブルケアを行う男性に対する周囲のサポート状況については、「子育て・育児とも主」の層において、「隣人や地域の人」「友人、知人等」から何らかのサポートを受けている回答者（「全く手伝ってもらっていない」と「該当する人がいない」以外を選択）が、それぞれ、61.7%、60%と6割強存在している。同じ層の女性についてみると、「隣人や地域の人」が30.5%、「友人、知人等」が32.7%となっており、男性と比較して、それぞれ31.2ポイント、27.3ポイント低くなっている。

さらに他の層についても、いずれも4割未満となっていることから、特殊な傾向であると推察される。

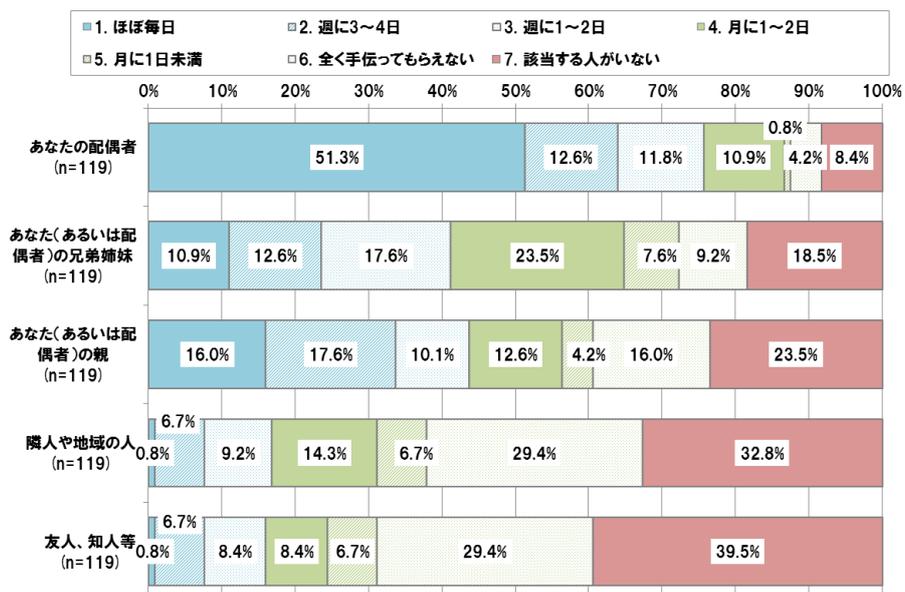
図表 5-24 男性のダブルケアを行う者に対する周囲のサポート



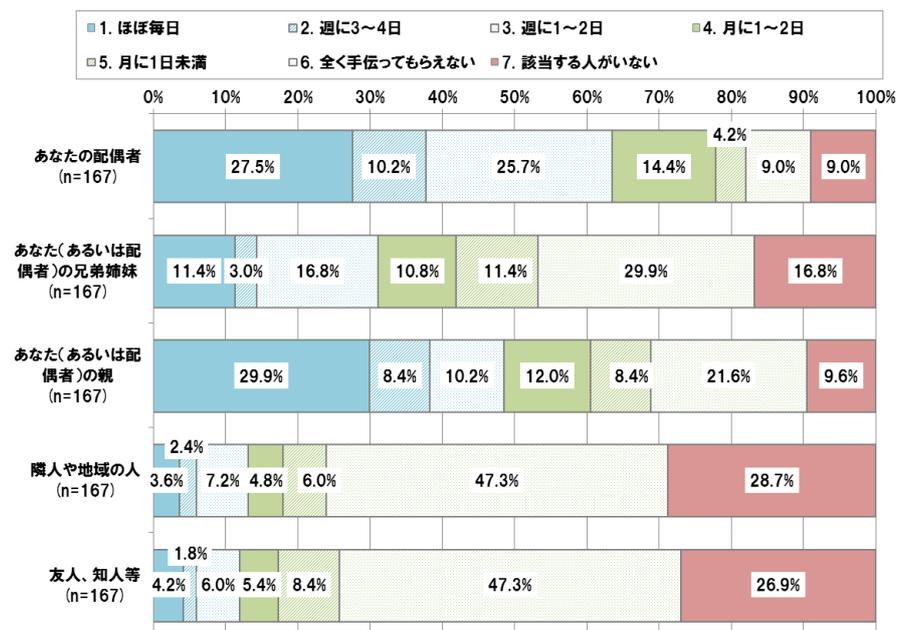
(参考) 女性のダブルケアを行う者に対する周囲のサポート【子育て・介護とも主】



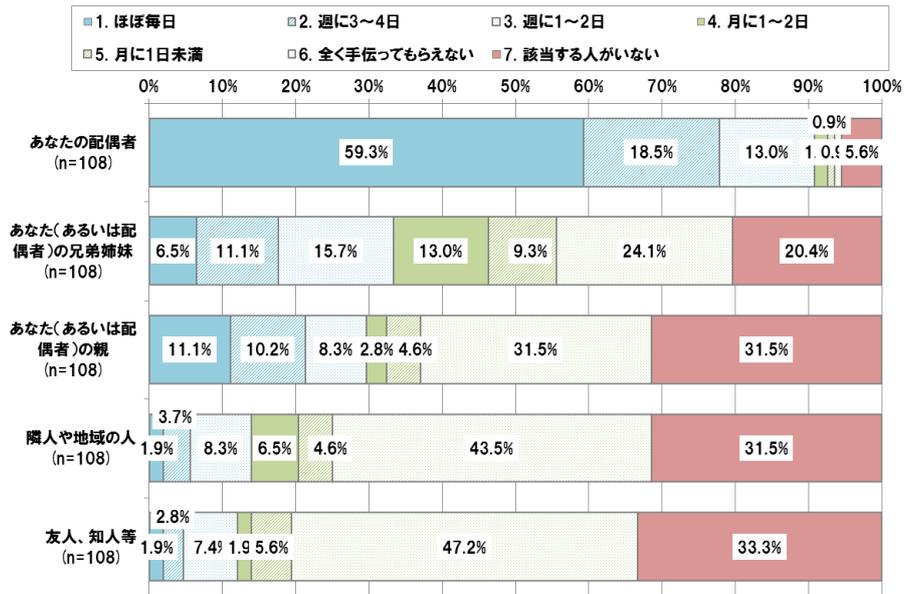
【子育てのみ主】男性



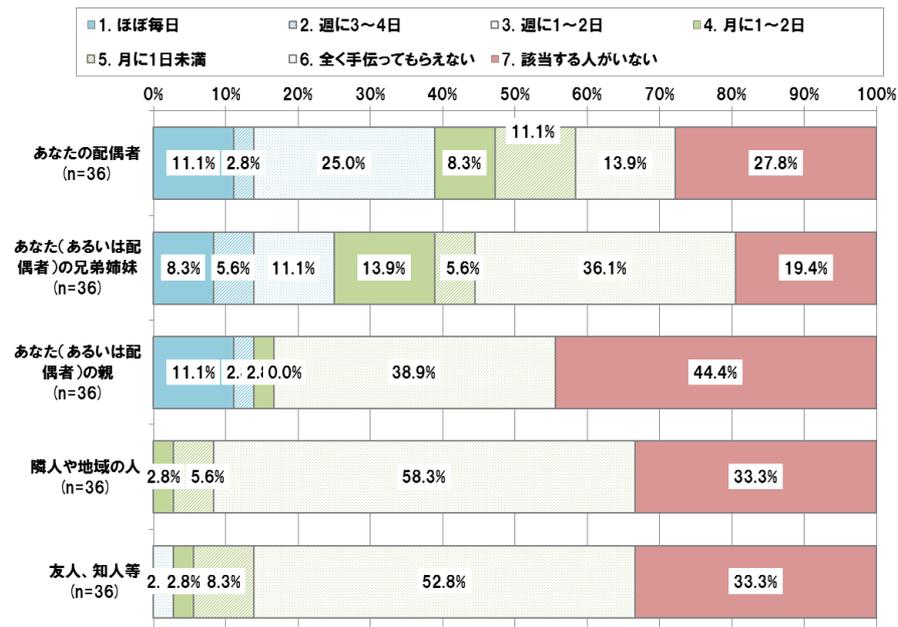
(参考) 【子育てのみ主】女性



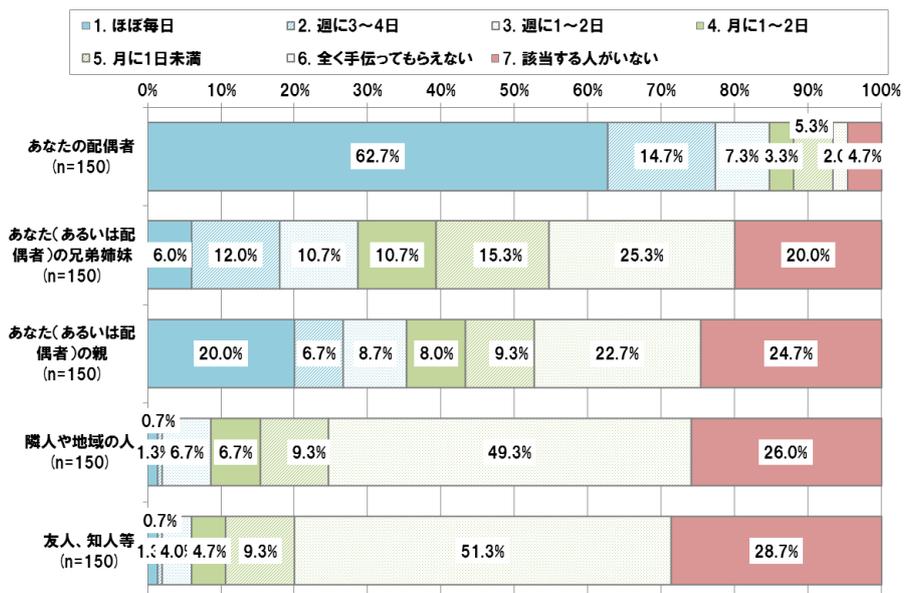
【介護のみ主】 男性



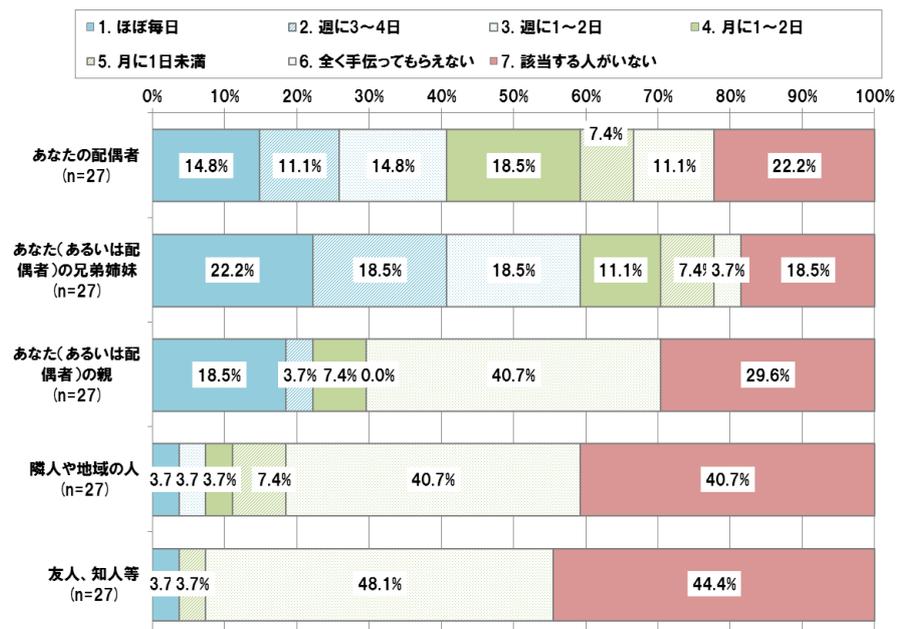
(参考)【介護のみ主】 女性



【子育て・介護とも主でない】 男性



(参考) 【子育て・介護とも主でない】 女性



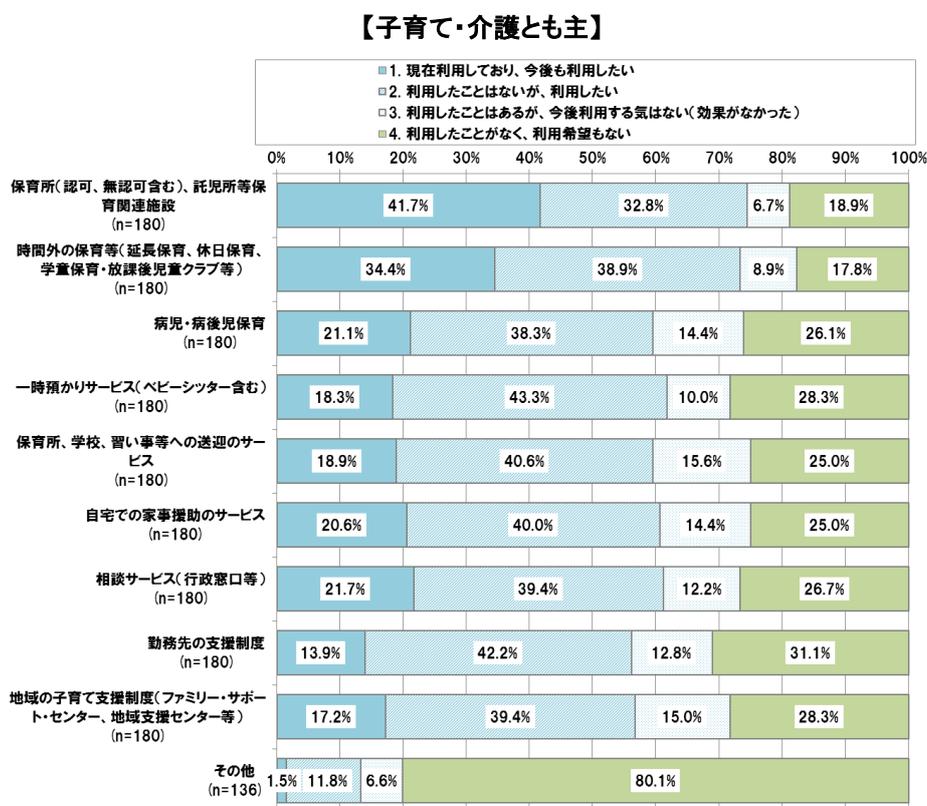
5.3.4. 男性のダブルケアを行う者が利用しているサービス

(1) 子育て関連サービスの利用状況

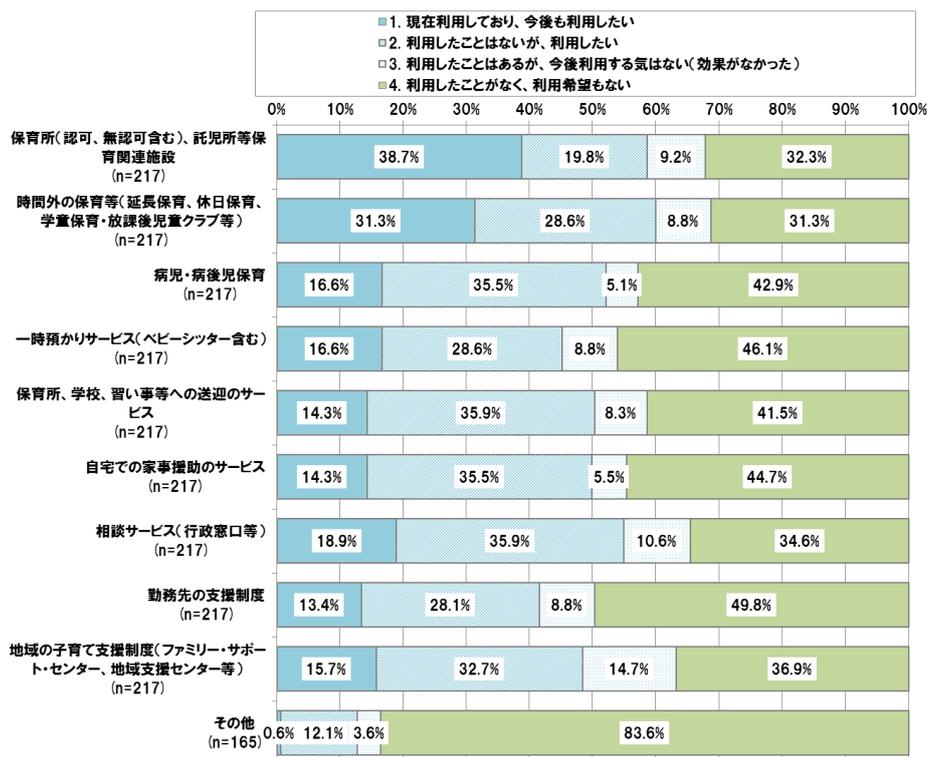
ダブルケアを行う男性が利用している子育て関連サービスの利用状況については、「子育て・介護とも主」の層において、今後の利用意向を示す回答者（「現在利用しており、今後も利用したい」または「利用したことはないが、利用したい」を選択）が、全てのサービスで半数（5割）以上存在している。なお、同じ層の女性も同様である。

全体的には、男性の方が女性と比べて今後の利用意向が高い傾向がある。

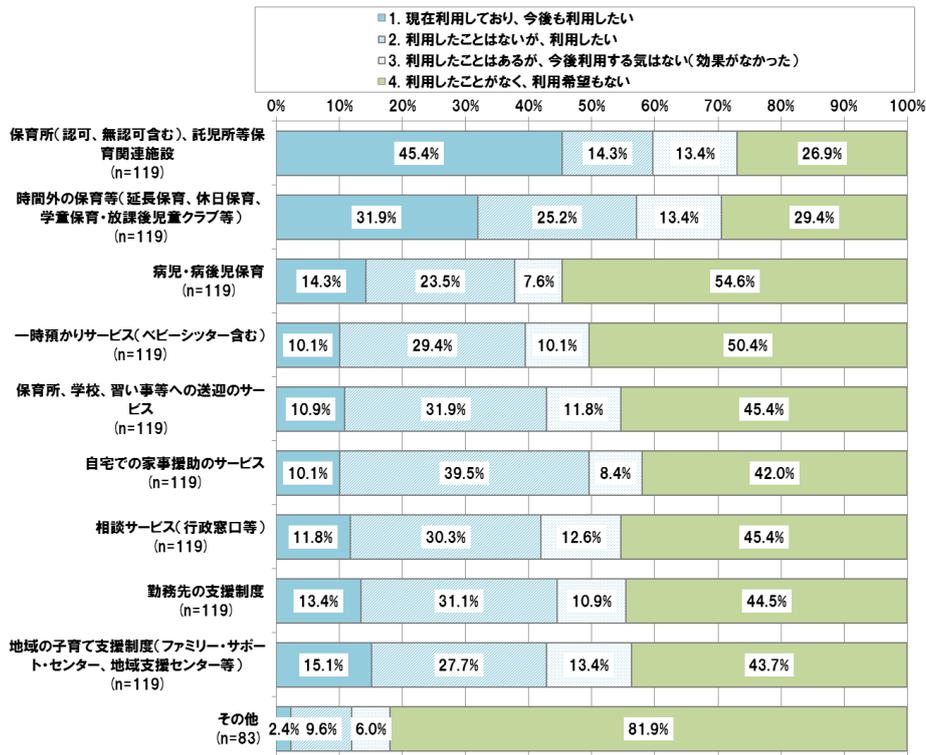
図表 5-25 男性のダブルケアを行う者の子育て関連サービスの利用状況



(参考) 女性のダブルケアを行う者の子育て関連サービスの利用状況【子育て・介護とも主】



【子育てのみ主】 男性



(参考) 【子育てのみ主】 女性

